

(3) 保護者、地域から信頼される学校づくり

⑤ 児童の問題行動への対応

【取組】

- ◎児童連絡会(月1回)の定例開催、
情報共有
- ◎個別事象への対応
 - ・ケース会議での対応の協議と実行
 - ・市教委、スーパーバイザー、SC等専門家との連携
- ◎不登校支援として、
校内サポートルーム設置に向けた議論
と共通理解

【来年度に向けて】

- 学級の状況を担任ひとりが抱え込まず、学年、職員全体が把握しやすい環境づくり
- 問題行動にいち早く組織的に対応する体制の再構築

- 校内サポートルームの設置
(担当支援員、フリーで対応できる教員の確保が課題)

(3) 保護者、地域から信頼される学校づくり

- ⑥ 学校運営協議会、地域学校協働本部との連携と協働
デジタルリテラシー、情報モラル教育について

【取組】

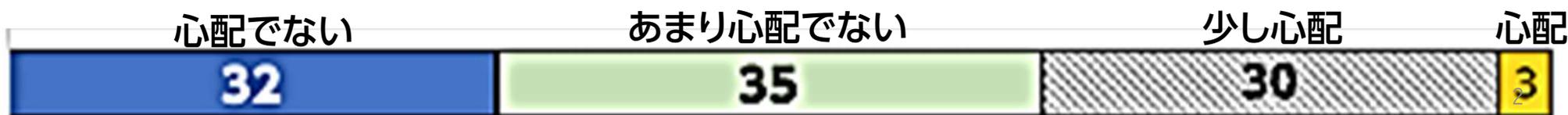
◎情報モラル教育(企業による出前授業) 1・3・5年…10月6日 docomo
6年 …2月9日 KDDI

◎6年生で生成AIの利用についての授業

保護者アンケート Q9 学校の情報モラルやデジタルリテラシーについての取組について



Q10 お子さんの情報モラルについて



(3) 保護者、地域から信頼される学校づくり

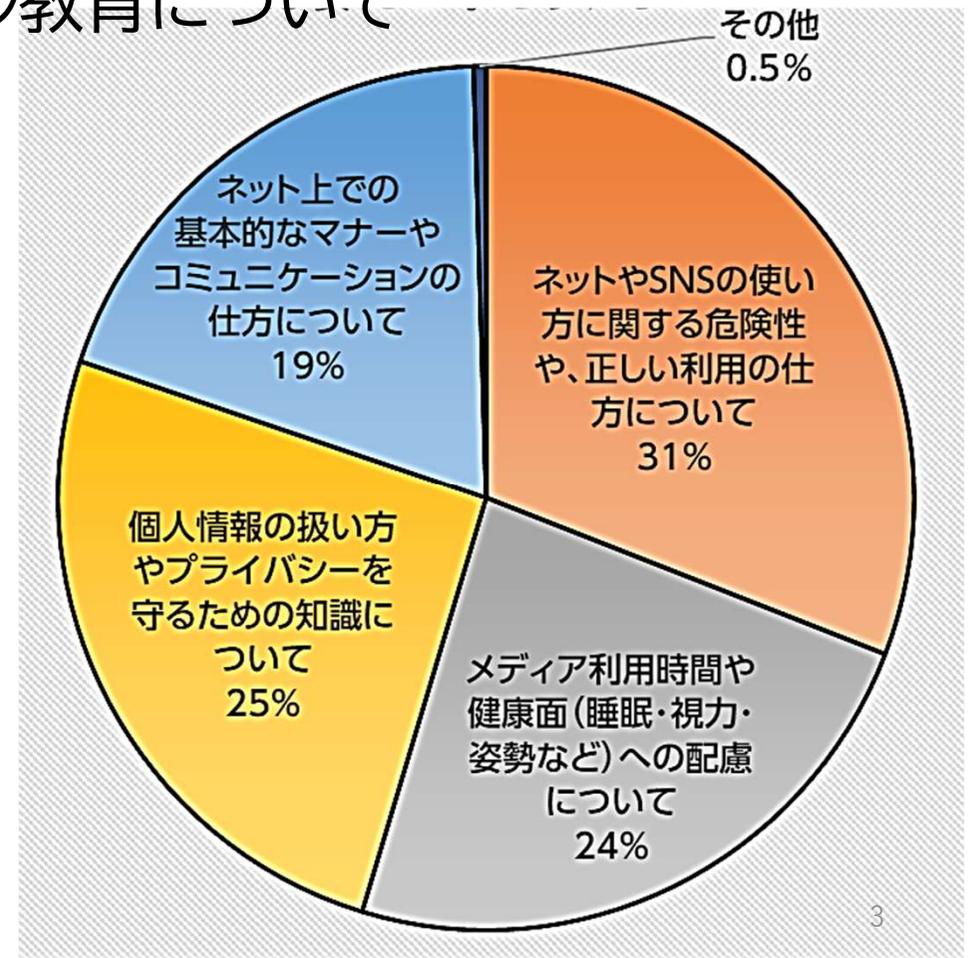
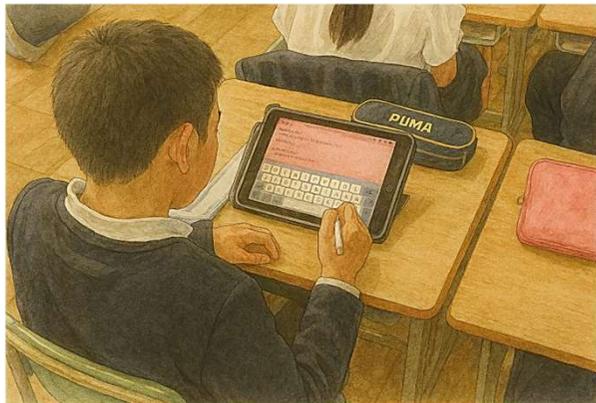
⑥ 学校運営協議会、地域学校協働本部との連携と協働 デジタルリテラシー、情報モラル教育について

Q11

お子さんが

身につけるべき情報モラルについて、

今後特に必要だと感じられること



(3) 保護者、地域から信頼される学校づくり

⑥ 学校運営協議会、地域学校協働本部との連携と協働 デジタルリテラシー、情報モラル教育について

【成果と課題】

- ◎保護者の情報リテラシー教育への関心は高い
- ◎自由参観ができる方式をとって出前授業を実施
- ▲自由参観では参加者数が少ない＝参加しづらい

【来年度に向けて】

→全学年か偶数学年か、一部の学年なのかは決められないが、年に一度、情報モラルに関する参観授業を設定し、ともに考えていく機会を設定することを検討する。